

の滞納整理の計画をどう考えているのか。

## 答弁(収納課長)

滞納対策として、コンビニ納付の充実など納税しやすい環境づくりと引き続き西尾張地方税滞納整理機構【多】に参加するなどし徴収の強化を進め、今後とも納税意識の向上を図っていく考えである。

23年度より市税の収入未済額の縮減を図るため、県と市町村が連携して積極的な滞納整理を行う組織。(参加市町村：弥富市、一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村)

## 質疑(那須議員)

- (1) 防犯灯、年間100箇所程度の取替えでは、市内全ての更新に50年かかる、予算を増額するべきではないか。
- (2) 市子ども・子育て会議の具体例は。



27年4月施行予定の「子ども・子育て支援新制度」に関する事業計画の策定・進捗管理などについて、保護者の方を含む子ども・子育て支援の当事者などの意見を聴くための会議であり、本市の子どもや子育て家庭の表情を踏まえて施策を実施していくことを目的としています。

## 答弁(防災安全課長)

- (1) 今後、適切な更新ができるよう、来年度の当初予算の増額を行っていく。

## 答弁(児童課長)

- (2) 児童クラブの年齢拡大、保育所における一時保育などの計画、実施状況の調査審議などを行う。

## 質疑(三宮議員)

- (1) 国保特別会計、24年度決算を見ると、値上げしなくても十分やっていけたのではないか。
- (2) 国保や介護の減免制度がほとんど利用されていない状態についてどうか。

## 答弁(市長)

- (1) 一般会計からも繰入金をし、また、基金も底をついてきた状況。高齢化社会が進むなか国保運営が安定していくため、一定の基金は持つべきだろうという中でご理解いただきたい。

## 答弁(介護高齢課長)

- (2) 今後、有効な周知の方法を新年度に向け検討していく。

## 討論

## 反対討論(三宮議員)

国民の懐、市民の暮らしの向上を根本とした施策への転換をこのまちでできることを強めながら、国・県の政治を変えるための働きをするのを強く求め、反対する。

※三宮議員は、一般会計決算、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・農業集落排水事業・公共下水道事業特別会計決算について反対討論を行いました。

## 採決

○一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・農業集落排水事業・公共下水道事業特別会計  
賛成起立14人で原案可決  
反対2人(三宮、那須)

○土地取得特別会計  
賛成賛成で原案可決

## 議員定数を削減 18人から16人に改正

行財政改革及び社会情勢の変化に伴い、次の一般選挙から定数18人を16人に改正するものです。

## 質疑

堀岡議員から「発議に至った経緯は」、那須議員から「この発議は市民からの声なのか、議員が市民感情はこうだろうと思っただのか」、佐藤博議員から「賛成議員のなかで前回反対の立場だった議員への今回の見解は」、伊藤正信議員から「今、議会として何本もある条例を検証するなど大きな役割を持っているがそのことについてどうか」などがありました。

## 討論

## 反対討論(堀岡議員)

市民に見える議会、議員活動となる道筋をしっかりと市民に示した上で、民意をくみ取り、定数削減等の問題を判断していくのが筋ではないかと強く思い、反対する。

## 賛成討論(平野議員)

議員数が削減された分、議員は一人一人がさらなるレベルアップをして、市議会として市民の付託に応えていかなければと思ひ、賛成する。

成する。

## 反対討論(三宮議員)

みんなの意見が反映されるまちにしていくという立場なら、18人の議員定数を守るが一番、少なくとも16人にすることよりもはるかに大事なことだと思ひ、反対する。

## 採決

賛成起立11人で原案可決  
反対6人(三宮、伊藤(正)、炭電、堀岡、那須、早川)

## 緊急質問

9月20日、本会議最終日に佐藤博議員が緊急質問を行いました。

その内容は、6月定例会で可決された一般会計補正予算の内、新庁舎建設事業関連予算として計上された土地購入費と物件移転補償金の支出をしないよう求める住民監査請求に対し、監査委員から請求要件を満たさないため却下とした結果について問うものであります。

## 質疑

## 質疑(佐藤博議員)